

# 青年会議所とは 説明資料

公益社団法人霧島青年会議所  
拡大・広報委員会

# 青年会議所とは

青年会議所は、J C（Junior Chamberの略）とも呼ばれ「明るい豊かな社会」の実現という共通の目的に向かって、その目的を達成するために所属する各地域で

ひとづくり（修練）：自己研鑽・自己啓発・リーダーシップ  
まちづくり（奉仕）：地域社会への貢献  
なかまづくり（友情）：思いやり・助け合い・協調性

という3つの信条のもと活動し、20歳から40歳までの青年が所属し1年毎に役職・役割が変わる単年度制の団体です。



# 青年会議所とは

また、JCは世界100以上の国にあり17万人以上の世界で最も大きな青年団体です。現役メンバーに加え約250万人以上ものOBがいます。経験を積んだメンバーは卒業後も各界で社会に貢献しています。

例えば、歴代内閣総理大臣（小泉純一郎、小渕恵三、中曽根康弘）や国会議員（小泉進次郎、宮路拓馬）、歴代アメリカ大統領（ビル・クリントン、ジョン・F・ケネディ、）といった政治家から、コフィー・アナン（元国連事務総長）、ビル・ゲイツ（マイクロソフト開発者）、高須克弥（高須クリニック院長）、千玄室（茶道裏千家15代家元）市川團蔵（歌舞伎俳優）など様々な活躍をされています。

世界中で、いろんな仲間が活躍しています。



# 青年会議所が推進している活動

## SDG s （Sustainable Development Goals）

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・160のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

また、2019年1月の日本青年会議所総会においてSDGsを推進することを全国の青年会議所全会一致で決議し、本年度は全国各地でSDGsの啓発活動等が行われています。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナースhipで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

[illegible]

# 本年度の霧島青年会議所の取り組み

本年度は、田上理事長のもと

「言行一致 ～本気で取り組もう！未来の地域のために～」のスローガンを胸に43名の会員で活動しています。

基本方針を

1. 全員攻撃・全員守備の組織へ
2. 戦略的な活動・運動の発信
3. 総動員での仲間づくり
4. 実行力のあるひとづくり
5. 自らの意思で未来を創造する青少年の育成
6. 夢を実現できるまちづくり

としています。

私たち、拡大・研修委員会の担いとして

「総動員での仲間づくり・実行力のあるひとづくり」  
を企画・立案しています。



# J C とは人生の学び舎

## 【J Cは単年度制】

J Cの人事では単年度制が採用され、メンバーの役職は毎年シャッフルされていきます。この単年度制の仕組みにより、メンバーは様々な経験を積むことができます。毎年同じ職務を担当すればその分野を極めることができますが、自分の苦手なことにもチャレンジし、様々なメンバーとチームを組むことで多様な経験を積むことで考え方の幅を広げることができるのがJ Cの大きな特長です。

社業を飛躍的に伸ばすためにはイノベーションが必要です。J Cでは、出向の機会も含めて毎年役職が変わり、いろいろな考え方の仲間から刺激を受けることができるので、イノベーションを起こすのに必要な思考回路が身に付きます。

J Cは本質を追求していき団体です。

## 【J Cの一番大きな特長】

さて、冒頭の「他の団体と何が違うの?」に対し、ここで答えてみたいと思います。他団体と異なる一番大きな特長は、「J Cは意識変革をする団体」であるということです。

J Cが取り組む事業は、市民の意識変革、まちづくり、人財育成につなげることを目的とします。その様な目的を達成するために様々な課題解決をしていくことを通じて、J Cのメンバーも一緒に成長、意識変革していくことができます。

## 【J Cと会社経営の共通点】

メンバーや市民から共感を得るためには、まさに現状や課題について、これでもかというくらいの掘り下げが必要です。それは、一つ答えが出て満足せず、その答えに対してなぜそうなのかを繰り返していかなければなりません。

これを1人でやっても限界があります。時に人とざっくばらんに話し、時に人と深く話し合い、自分でもさらに掘り下げ、それでようやく共感を得る内容にすることができます。これはひとつの「哲学」を極めていくような作業と言っているかもしれません。昨年の経験を基に毎年同じような事業をやる団体では、この過程は到底体験することはできません。

これは会社を経営するためには必ず必要なことです。経営者の方にとって人脈以外に得られる一番大きなポイントはこの点です。

J Cで学ぶことができるスキル

【マネジメント能力】 【コミュニケーション能力】

【組織力】 【広報戦略】 【行政や他団体との連携力】

## 【J Cで学べること】

J Cは、仕事を与えてくれる場ではありません。J Cは、魚が釣れなくて悩んでいる人に魚を与える場ではありません。J Cは魚の釣り方を教える、学ぶための組織(社会人の学び舎)です。J Cで思いっきりチャレンジすれば、物の見方や考え方が変わります。考え方が変われば、環境が変わります。環境が変われば、世界が変わります。

仕事でも全く同じことです。マインドセットを変えることで、社業も飛躍的に変わることでしょう。



# 異業種交流会「飲者語injago」

多くの皆さんで、食事をし交流して友達を増やそうというのが、飲者語injagoの目的です。

年齢制限等はありません。どなたでも参加可能です。人脈を広げたい方、友達増やしたい方など興味のある方は、090-3660-2240(ハマダ)までご連絡ください。

